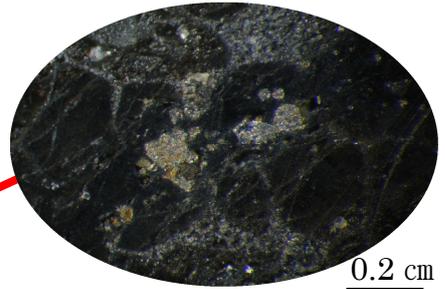
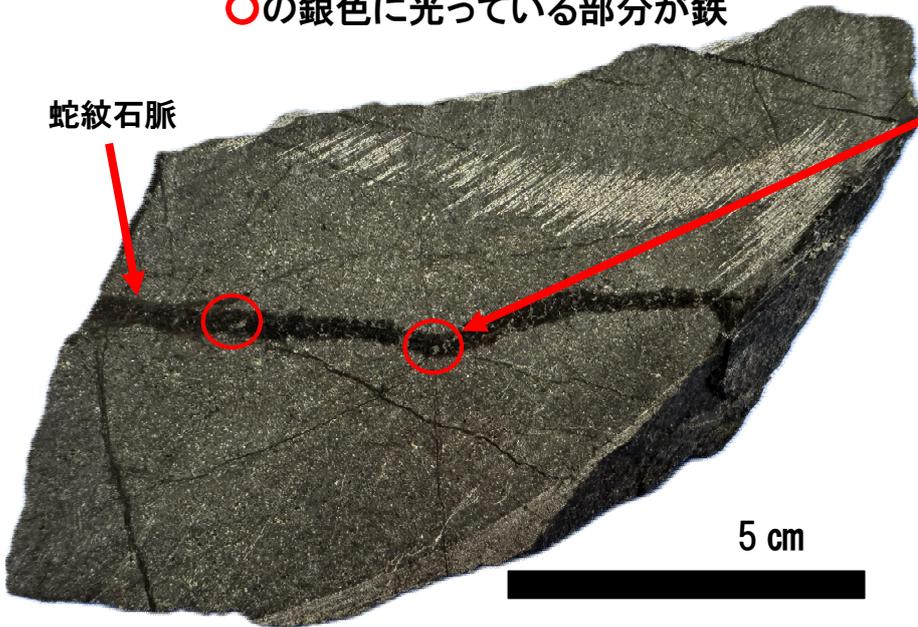


馬山上蒔田 (まやまかみまた) 産

自然鉄 (しぜんてつ)

くろうちやま
黒内山を源流とする上蒔田地区の川原で見られるかんらん岩中には、
じゃもんせきみやく
蛇紋石脈(下の写真の黒い脈)の中に、銀色に点在して光る自然鉄(鉄単体の鉱物)が
できています。

○の銀色に光っている部分が鉄



2019年度下仁田ジオパーク学術奨励事業で
下仁田町の鉱物について研究した山田隆様より寄贈

馬山地区のかんらん岩分布域
井澤(2018)を基に作成

鉄 = 化合物になりやすい元素

↓ 通常

- 磁鉄鉱(酸化鉄)
じてっこう
- 褐鉄鉱(水酸化鉄)
かってっこう
- 黄鉄鉱(硫化鉄)
おうてっこう

などとして見つかる

鉄が単体で産出するのはとても珍しい

黒内山のかんらん岩は鉄分をたくさん含んでいるので、水や熱などで蛇紋岩に変化するとき、脈中に塊状に自然鉄や、アワルワ鉱(鉄とニッケルの化合物)も一緒にできている

文献: 井澤一輝(2018)関東山地北部、三波川帯御荷鉾緑色岩の超苦鉄質岩体 ジュラ紀海台火成活動との関連. 下仁田町自然史館研究報告, 3, 33-44.

武田侑也・上原誠一郎(2020)長野県大鹿村のかんらん岩の蛇紋岩化作用と自然鉄. JpGU Joint Meeting, 講演要旨, S-MP-P08.